

<以下仮訳ですので、ご使用に当たっては原文をご確認ください>

雲南省で再度の電力制限、電解アルミニウム生産企業が 40%減産、川下製品の黄燐は 2,000 元上昇。

<2023 年 03 月 08 日 17:47 [紅星新聞](#)>

<https://finance.sina.com.cn/tech/roll/2023-03-08/doc-imykeaix0298028.shtml>

2022 年 9 月の二度の電力制限に続いて、主要な水力発電地域である雲南省に於いて再び電力制限のニュースが流れた。本紙（紅星・資本局）は、今回の一連の電力制限が雲南に於ける電解アルミニウム、黄リン、亜鉛等の産業に影響を与え、一部の大企業が減産と電力負荷の削減を求められていることを知りました。

3 月 6 日、電解アルミニウム企業である“云南其亜金属有限公司”（以下簡稱“云南其亜”）の担当者は本紙に対し、「2 月中旬に電力制限の通知を受け取り、2 月 27 日に電力負荷削減要求の対応を完了した。」と語りました。同日、上場企業である“神火股份”（000933.SZ）の董事長秘書も、電力制限調整後、工場の電解アルミニウム生産能力は 40%減少したと本紙に表明しました。電解アルミニウムの他に、同様なエネルギー高消費産業である“黄燐”も今回の雲南省電力負荷削減の対象になり、上場企業である“云天化”（600096.SH）も生産ラインを 1 ライン停止しました。

干ばつが水力発電量の減少を引き起こし、雲南省の今回の「電力制限と生産削減」の主な要因となりましたが、雲南省保山市にある小規模シリコン企業の責任者である严 氏（仮名）によると、頻繁な電力制限は、近年、雲南省が誘致した大量の高エネルギー消費企業にも関連しています。

本紙は、電力制限通知が出された後、川下市場の価格も変化し始め、黄リン、セメントの両方の価格が上昇したことに気付きました。

企業の消費電力負荷を軽減する

一部のアルミニウム企業は 40%減産し、「余剰」労働者は他所に派遣する。

“云南其亜社”は地元の大きな電解アルミニウム製錬企業の 1 つであり、“新疆其亜铝电有限公司”の持株子会社で、年間 35 万トンの電解アルミニウムの生産能力があります。前述の担当者によると、今回の電力制限要求では電力負荷の 20%の削減が求められており、同社の電解アルミニウムの生産能力に大きな影響を与え、「元々は 3 ラインでしたが、電力制限後は 1 ライン（運転中）だけになった」とのことです。減産だけでなく、“云南其亜社”の従業員も電力制限の影響を受け、担当者によると、「余剰」労働者は新疆公司の支援に派遣され、電力制限が終了した後に再び雲南省に戻すとのこと。

本紙は、上場企業である“神火股份社”も今回の電力制限の影響を受けていることに気付きました。3 月 6 日、“神火股份社”の董事長秘書は本紙に対して、同社は 2 月に電力制限の通知を受け取り、調整後に電解アルミニウムの生産能力を 40%削減したと語りました。「年間平均生産能力 90 万トンに基づく、現在の月間減産量は約 3 万トン。」です。“神火股份社”の董事長秘書はまた、減産により、“神火股份社”の労働者も交替で休み始めたことと述べました。

別の上場企業である“云铝股份社”（000807.SZ）は、投資家向けのウェブサイトで電力制限による減産の情報を公開しています。2 月 23 日、“云铝股份社”は、同社が電力網会社の要求に応じて生産体

制を調整し、エネルギー管理期間中に同社の電解アルミニウム生産量を削減しており、また年次設備保守作業を臨時に手配し、エネルギー管理の影響を受ける設備を除いて、同社のその他の電解アルミニウム生産設備は正常に稼働してるとのことです。

雲南省での電力制限の影響を受けるのは電解アルミニウム産業だけではありません。本紙は、同じく高エネルギー消費産業である黄リン企業も、今回の雲南省の電力消費削減の対象であることを知りました。3月7日、上場企業である“云天化”社の関係者が本紙に対して、“当社の黄リン生産能力は年間約3万トンであり、今回の電力制限により年間2万トンの生産能力しか稼働できず、「以前は3ラインあったが、現在は1ライン停止している」と回答しました。

一部の業界関係者は、雲南省での「秩序ある電力消費」制限の範囲が産業用シリコンなどの他の産業にも拡大される可能性があるとして、本紙に語りました。3月7日、雲南省龍陵県にある“龙山硅有限责任公司”の関係者は、電力制限の通知をまだ受け取っておらず、現在通常の生産を続けていると述べた。

電力制限が頻発するのは 水力発電の供給不足が主な原因

干ばつは水力発電量の減少につながり、これが雲南省に於ける今回の「電力制限と生産削減」の主な要因です。国家統計局のデータによると、水力発電は常に雲南省に於ける発電の主力となっており、過去6年間ではこの割合は80%を超えています。水力発電には季節的変化があり、雨季に増加し、乾季に減少します。

現在、雲南省は乾季であり、“五矿期货”社のデータによると、2月中下旬の時点で、雲南省の主要地域における1月、2月の降雨量は前年の同時期よりも大幅に減少している。雲南省の溪洛渡水力発電所でも同期間に大幅に低い水位で、2月下旬には通常の貯水位よりも40m又は6.7%低くなっています。

雲南省水資源局は2月3日に、“洪水・干ばつ災害防止に関する全省会議”を開催しました。会議では、今年初め以来、雲南省の殆どどの地域で顕著な降水がなく、河川の水流は全体的に少なく、貯水池の総貯水量が急速に減少していると指摘され、現在の気象干ばつは急速に進行しており、玉溪、大理、麗江の一部地域での干ばつの影響が徐々に現れていると報告されました。



乾季と干ばつにより、雲南省に於ける水力発電の供給状況が緊迫し、川下の産業チェーンに急速に影響を及ぼしています。“云铝股份”社は、投資家の質問に答える際、“云南电网”社の次のような回答を提示しています。「現在、雲南省内に於ける電力需給状況は厳しく、水力発電の発電能力は昨年比大幅に減少しており、電力網の安全運用と電力の安定供給を確保するために、弊社（云南电网）はエネルギー管理を実行して、対応する電力負荷を減らすように求めている。」

”云南其亚“社と”神火股份“社の担当者も、本紙に対して、電力制限は主に乾季に於ける水力発電供給の減少が原因であると述べました。本紙は、雲南省に於いて過去 2 年間に頻繁に電力制限が発生していることに気付いています。例えば、2021 年 9 月、雲南省省エネルギー作業指導小組事務局は、<<エネルギー消費の二重管理（能耗双控）を断固として実施する通知>>を公布し、重点産業の管理・制御を強化することを提案し、セメント、工業用シリコン等は生産能力削減を求められました。2022 年 9 月には、雲南省は干ばつと夏季の雨不足に加えて、石炭不足の影響により、電力供給が逼迫し、2 回連続で電力制限を行いました。

この他に、雲南省は西部で発電した電量を東部へ送電する重要な送電地域となっています。“21 世紀経済報道”によると、雲南省自体に電力が不足している場合でも、省間協定の枠組みの下で送電を実施しなければなりません。

業界人による分析

雲南省が大量の高エネルギー消費企業を誘致していることに関係している

しかし、雲南省保山市にある小規模シリコン会社の責任者である严氏(仮名)によると、電力制限が頻発するのは、近年、雲南省に高エネルギー消費量企業を多数誘致したことにも関連しているとのことです。彼によると、雲南省の電力価格の優位性のために、高エネルギー消費型の企業が“群れのように”移動して来て、この急激な生産能力増加が、間違いなく電力供給に影響を及ぼしているとのことです。

以前は、雲南省は水力資源が豊富でしたが、省内での消費割合は高くありませんでした。“中国能源報”によると、雲南省では毎年“棄水”電力が 300 億 kWh に達しています。余剰電力を消費するために、雲南省は 2017 年に一連の電力価格優遇政策を発表し、高電力消費産業であるアルミニウム、シリコン企業を多数誘致しました。例えば、前述の“云南神火”、“云南其亚”、“魏桥集团”；及び“隆基股份”、“晶澳科技”、“通威集团”等です。

2021 年末、雲南省は山東省を抜いて国内最大の電解アルミニウムの生産地となりましたが、電解アルミニウム産業は雲南省の大電力消費者となりました。業界ウェブサイトである“Mysteel”の統計データによると、雲南省の電解アルミニウムの電力消費量は、第 2 次産業の電力消費量の 41%を占め、省全体の電力消費量の 30%近くを占めています。

高エネルギー消費企業の増加に伴い、電力制限が増える状況も発生しています。本紙は、昨年 9 月と比較して、“云南神火”社の電解アルミニウム生産能力の削減目標が 20%から 40%に増加したことに気付きました。「電力網は、全体的な電力量の状況に応じて企業（生産能力）に配分され、今年の生産能力が増加したため、削減圧力は更に強まりました。」と“云南神火”の董事長秘書は述べています。

川下市場の黄リン、セメント価格が上昇

電力制限はいつまで続くのか？

電力制限通達の発令後、工場の減産に伴い、川下市場の価格も変化し始めました。黄リンを例に取

ると、“百川盈孚”社の初歩的統計に基づくと電力制限前の雲南省の黄リン総生産量は日産約 790 トンであったが、この度の雲南省の電力制限により、黄リンの日産量は 210 トンに減少しています。本紙は、黄リン価格が既に上昇市場となっていることに気付きました。“Wind”社のデータによると、3月3日にリン鉱石価格が再び上昇し、最新の相場は 1089 元/トンとなり、去年同期（659 元/トン）と比較して約 65% 上昇しています。

“中国化工ニュース”によると、3月初旬の雲南省の黄リンメーカーでの相場は 31,000~32,000 元（トン価格、以下同じ）に上昇しており、2月22日と比較すると、累計で 1500~2000 元上昇しています。市場取引価格が 30,000 元以下の場合、注文は受理されていません。四川省、貴州省の黄リン企業もこれに応じて見積もりを引き上げ、受注予定価格は約 30,000 元に引き上げられています。

現在、電解アルミニウムの市場価格変動はあまり大きくありませんが、しかし、“銀河証券”によると、雲南省での減産の実施と将来の需要の回復により、電解アルミニウムの国内需給は改善すると考えられています。アルミニウムインゴットの社会的在庫は在庫削減の段階に入ることが予想され、アルミニウム価格を押し上げる可能性があります。

電気アルミニウム、黄リンの他に、雲南省の工業用電力の大消費者としてセメント産業があります。本紙は、今回の電力削減の影響により、セメント企業も価格調整を開始していることに気付きました。“华创证券周报”によると、雲南省の一部のセメント会社が電力制限通知を既に受け取っているが、具体的な電力制限の程度はまだ明らかでないとのことです。業界のウェブサイト“水泥人网消息”によると、雲南省昭通市にある“威信得云建材有限责任公司”は、原材料価格の上昇とエネルギー効率管理によって、生産コストが上昇し、同社は 2023 年 2 月 27 日から、鎮雄地域を除いて、他の地域のすべての種類の袋入りセメントとバルク・セメントが原価格より 30 元/トン値上げすると通知しました。

威信得云建材有限责任公司

调价通知

尊敬的客户！

首先感谢您长期以来对我公司的信任与支持！

因原材料价格上涨，能效管理造成生产成本增高，经公司研究决定，于 2023 年 2 月 27 日 0:00 时起，除镇雄区域外，其他区域的所
有品种袋装、散装水泥在原价格基础上单价上调 30 元/吨。

特此通知！ |

威信得云建材有限责任公司

销售部
2023 年 2 月 26 日

雲南省の電力制限いつまで続くのだろうか？

“云南其亚”及び“神火股份”の担当者は、電力制限がいつ終了するかは未だ通知されていないが、雨季が来て、水量が増加する季節には緩和されると予想しています。短期的には、雲南省の水力発電量は改善されず、一部の地域では干ばつが 5 月下旬まで続く可能性があります。雲南省昆明気象局の予報によると、今年の雨季は 5 月下旬から 6 月上旬にかけて始まり、雨季開始時期は平年より 5 日から 10 日遅れます。

<紅星新聞記者 强亚铎>